

## ダシャーの計算方法

人が生まれてから死ぬまでの間に特定のダシャーの支配星の影響の時期や期間を計算で求めれば、いつ頃、どのような惑星やハウスや星座によって条件づけられるのかを知ることが出来るため、人生にどのような状況が生じてくるか、もっと言えば、人生に何が起こるかを予測することが可能になります。

### マハダシャーの求め方

例えば、Aさんがいて月が双子座 15° 14'に在住しているとします。

Ju Ve		Ke	SaR Mo As
	Chart - A 1975/2/22 13:14 D/1		
Ma	Ra		

双子座 15° 14'はアールドラーに該当するため、ナクシャトラの支配星はラーフです。

6	アールドラー	双子 06° 40' - 双子 20° 00'	ラーフ	18
---	--------	-------------------------	-----	----

従って、このチャートの持ち主は、生まれた時にラーフの時期にいたこととなります。

ラーフの期間は18年です。従って、この人はこれから18年間ラーフ期だと考えたいと思いますが、ラーフ期の開始地点は、【双子座 06° 40'】で、終了地点は、【双子座 20° 00'】です。

この人の月は、双子座 15° 14'に位置しているため、開始地点の【双子座 06° 40'】から8° 34'ほど過ぎています。

< 計算例 >

$$\begin{aligned}
 &15^\circ 14' - 6^\circ 40' \\
 &= \{(60 \times 15) + 14\} - \{(60 \times 6) + 40\} \\
 &= 914 - 400 \\
 &= 514' \\
 &514 / 60 = 8 \dots \text{余り } 34 \\
 &= 8^\circ 34'
 \end{aligned}$$

従って、人生はラーフ期の途中からのスタートになります。

双子座 06° 40' - 双子座 20° 00'の13° 20'が、18年に対応するため、8° 34'を引いた残りが、既に経過した期間を差し引いたラーフ期の残りの期間になります。

< 計算例 >

$$13^{\circ} 20' - 8^{\circ} 34' = 800' - 514' = 286'$$

$$286/60 = 4 \dots \text{余り } 46$$

$$= 4^{\circ} 46'$$

$$18 \text{ 年} \times (4^{\circ} 46' / 13^{\circ} 20')$$

$$=(18 \times 286) / 800$$

$$=6.435 \dots \text{6 年} \dots \text{余り } 0.435$$

$$12 \times 0.435 = 5 \text{ ヶ月} \dots \text{余り } 0.22$$

$$30 \times 0.22 = 6 \text{ 日} \dots \text{余り } 0.6$$

ラーフの残りの期間は**6年5ヶ月と6日**になります。

< 定数 >

$$\text{アールドラー開始 } 11S + 6^{\circ} 40'$$

$$\text{アールドラー終了 } 11S + 20^{\circ} 00'$$

$$S = 30^{\circ}$$

< 変数 >

$$\text{月の在住度数 } 11S + 15^{\circ} 14'$$

< 計算式 >

$$\{ (\text{在住ナクシャトラの終了度数 } ' - \text{出生の月の度数 } ') \times \text{支配星の年数} \} \div 800 '$$

出生年月日の 1975 年 2 月 22 日に計算で導き出したラーフ期の残り期間(6年5ヶ月と6日)を足すと、次の木星期の開始日時が分かります。

その次からは次のダシャーが来るまでの年数を足していきます。

これを繰り返すと、マハダシャーの切り替え時である日時が割り出され、以下の表を作成することが出来ます。

日時	マハダシャー (MD)
1975 年 2 月 22 日 (出生時)	ラーフ

1981年7月28日	木星
1997年7月28日	土星
2016年7月28日	水星
2033年7月28日	ケートゥ
2040年7月28日	金星

この表から分かることはチャートの持ち主Aさんが生まれてから6歳まではマハダシャーラーフ期にあり、ラーフはラグナ、月からみて6室に在住して減衰して、土星からアスペクトされており、このラーフ期は生活が荒れて、病気や負債とか人からの批判に晒され易い時期であったことを示唆しています。然し、ラーフには木星がアスペクトしているので、人の援助があったかもしれず、厳しい生活ながらも、苦勞しながら、逆境に負けないで頑張っただろうことが推測されます。

然し、次の1981年7月28日以降は、マハダシャー木星期に移り、木星は10室で自室に在住し、5室支配で高揚する金星と接合してラージャヨーガを形成しているため、その幼少時の苦勞を乗り越えて、6歳からかなり良い教育を受けて、音楽などを学んだり、学校での立場も良くなって、学級委員などやクラブの部長などを勤めて、皆を指導する立場に立ったのではないかと推測されます。

実際どうであるか分かりませんが、木星期への移行によって、かなりAさんは幸福になったことが予想されます。

Ju Ve		Ke	SaR Mo As
	Chart - A 1975/2/22 13:14 D/1		
Ma	Ra		